

取組名称	唐津の宝【虹ノ松原】未来に繋ぎたい ～唐津南式松原循環プロジェクト～			団体設立後の経過年数	21年目
応募取組主体名称	佐賀県立唐津南高等学校虹ノ松原プロジェクトチーム	活動地域	佐賀県	応募取組の活動年数	21年目
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門 (概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください) / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への思いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨	<p>唐津の宝であり日本三大松原のひとつ『虹ノ松原』の環境を守り未来に繋ぐ為、私達は21年前に発足しました。農業高校での学びから得た知識・技術を活かし、「楽しみながら学び、そして共有する」「松原を通したモノづくり・ヒトづくり」をテーマに有効資源の活用や商品開発、年代に合わせた松原ESD活動を実践しています。また近年はコミュニティづくりにも力を入れており、国内外の環境保全団体や教育機関と連携しています。</p>
実績の要旨	<p>松原保全の意義が広く発信され、直近3年間で約1万7千人の方が松原保全活動に参加し、170tの松葉が回収されるなど松原の環境保全に大いに貢献しました。また、未活用資源を活用した松葉食品など今までにない新しい松原の魅力が誕生し、国内外に広く発信できました。活動の担い手作りも着々と進み、地域の子供達が「虹ノ松原 Jr」として活動するなど、持続可能な松原保全の形作りも進んでいます。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	地域一斉清掃活動など直接的な環境保全はもちろん、松原の存在意義を地域に定着させることができた。
	社会・経済への貢献	私達が開発した商品や学習活動は地域に浸透。企業や団体などにより、松原資源の有効活用が進んでいる。
	地域資源の活用	今まで未活用であった松葉や松ぼっくりなどの副産物を活用した商品開発に取り組み、高校生が地域のリーダーとして推進している。
	普及・汎用性	私達のユニークな取り組みは国内外問わず受け入れられ、それぞれの地域環境を保全するヒントになっている。
	革新・ユニーク性	『松葉を食べる』『ゴミに教育的価値を持たせる』『世代ごとに分けた松原ESD』など、若い感性を前面に出した新しい環境保全活動です。
	継続性	虹ノ松原 Jr を中心に、地域に環境保全の仲間が育っておりこれからも虹ノ松原は永遠に保全され続けていく。

展望の要旨	虹ノ松原を永遠に守り未来に繋ぐ為、考案した虹ノ松原式木使い運動という循環を作り、将来的に松原を世界遺産にします。
-------	--